

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司後援会  
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203  
連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

# おぎはら健司の市政レポート

## 広域行政で政策の具現化を！

10月は行事が重なり、毎週実施していたオダサガ駅頭での挨拶を怠けてしまいました。今月に入っても地域の行事などが続き、更には28日からは第四回定例会が開会予定で、その準備や情報収集に努めてまいります。

タイトルに「広域行政」と書きましたが、他市と隣接する地域では、座間市だけでは解決出来ない行政課題がたくさんあります。

例えば、座間市内の雨水排水は、市の中央から西部の地域では相模川や目久尻川へ排水をしますが、相模が丘や小松原、ひばりが丘では大和市を流れる引地川水系へと排水をします。その際、座間市から大和市を通じて排水をしなければなりませんから、いくら座間市がインフラ整備をしても大和市側との連結がうまくいかなければ、いわゆる「ボトルネック」状態になり、スムーズに排水が出来ません。

そのような場合、隣接する自治体や、更に大きな行政区である県などの協力を得ながら進めていく事が肝要です。

座間市は昨年（平成24年）9月に選挙がありました。大和市や綾瀬市はいわゆる統一地方選挙（前は平成23年4月）として選挙が実施され、海老名市では統一地方選挙の年の11月に選挙が実施されます。

同い年でもあり、甘利明代議士の秘書時代に同僚だった大和市選出の神奈川県議会議員の藤代優也氏と「我々の人脈を活かし、それらの選挙で初当選した保守系議員で情報交換をする機会を作ろう」と企画をして『四志の会』という会を結成し、私は幹事長を拝命致しました。

座間市からは吉田義人議員・芥川薫議員・竹田陽介議員と私の4名が参加、大和市からは藤代県議を含めて6名の議員が、海老名・綾瀬からもそれぞれ3名の市議会議員が参加し、16名で情報交換をしています。

四志の会の名称は、県央地域四市の同じ志をもった議員が16名（掛け算の語呂合わせ4×4=16）で活動をするという事から命名をいたしました。これまでに6月と8月に開催し、懇親を深めています。

県や国に対して要望書を上げたりする際に、一市だけでアクションを起こすよりも四市まと

まって同様の意見書を提出する事で、その内容に更なる重さを持たせる事が出来るといった感じで、政策提言等、連携を深めた参ります。

広野台地区にある『カレスト座間』跡地の商業施設開発に関連では、小松原信号を中心とする県道の交通渋滞について、座間市だけでは対応に限界があり、大和市や道路管理者の神奈川県と協力をしながら進める必要があります。そのような課題解消のための政策具現化に向け、同じ政治思想を持った仲間を増やしていくことが、早期実現に必要な力だと考え、人脈を活かして活動を広げてまいります。

## 会派視察で戦車に体験搭乗！

冒頭で紹介したとおり、行事が重なった10月でしたが、私が所属する「新政いさま」の会派では二回目の視察として、北海道の苫小牧市、千歳市と合わせて陸上自衛隊北部方面隊（札幌市）と東千歳駐屯地へ行って参りました。

視察の詳細については、会派広報紙に掲載予定ですので、オダサガでの配布（来週を予定）やポスティングされた際に、ご一読を賜りたいと思いますが、ここで紹介したいのは陸上自衛隊北部方面隊と東千歳駐屯地での経験です。

ご承知の通り座間市にも陸上自衛隊が存在をしていますが、市民の中には米軍基地だけでなく自衛隊が駐屯している事に反対をされる方もいらっしゃるようですが、北海道では自衛隊に対する意識が若干異なるようで、例えば自衛隊員が任務で家を留守にする際には自治体や近隣の方々が留守家族を支援するための協定が結ばれているとの事。

国民の安全・安心を担って下さる自衛隊員がその任務に専念出来るよう、座間市でも取り入れたいと思う施策でした。



写真は駐屯地で90式戦車に体験搭乗させて頂いた際の写真で、毎年8月に行われる『陸上自衛隊総合火力演習』を楽しみにしている私にとっては夢のような時間でした（^^）